

平成28年度 北海道紋別養護学校 学校評価結果

平成28年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。
アンケート結果からの分析と改善の方策、職員アンケート、保護者アンケートのまとめと集計結果を掲載しました。ご覧ください。

平成29年3月1日
北海道紋別養護学校長

平成28年度学校評価結果と改善の方策

評価項目／改善方策	保護者評価	職員評価
○学校経営 ・教育目標 ・学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、経営方針の説明について平均値が全項目3.0以上と高い結果となった。 ・保護者説明会等での丁寧な説明の結果と捉えることができる。今後もわかりやすい方法の工夫、丁寧な説明が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標、経営方針の説明や理解のための方策等が図られ職員の理解は、高い結果となった。 ・組織運営等は、分掌による業務の偏りや組織的、効率的な業務の推進の2つの項目で平均値2.9と、全体の中では低い結果であった。
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学校経営方針等について職員に分かりやすく説明し、目標達成のため各部間で連携し協働して教育活動を推進する。また、保護者への複数回の全体説明の機会を設けたり、意見を交換する機会を増やす。 ・学部や分掌等の業務を組織的・効果的に推進するため、計画性、協働性を高める。 	
○教育活動 ・学級経営 ・授業	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の最高得点は、教育活動の「職員はお子さんの心情に配慮した指導を心がけていますか」「担任や室担のお子さんの様子についての分かりやすい説明」で平均値が3.6となった。 ・小学部、中学部、高等部の学部間の指導の引継ぎに関する項目は平均値が2.2と低い結果となった。学部間のつながりのある指導について課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の将来を見据えた進路指導や、小学部、中学部、高等部のつながりに配慮した指導の充実に関する項目は、平均値2.9と低い結果となった。進路先やサービス等の情報共有が必要である。 ・児童生徒の障がいの特性の理解や特性に応じた指導等について、平均値が2.9と低い結果となった。これまでも取り組んできたが、引き続き専門性の向上が課題である。
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学部間引継ぎについて保護者に情報提供し、個別の教育支援計画、個別の指導計画の内容を確実に引き継ぎ、指導を充実する。 ・小学部、中学部、高等部の教育活動を見直し、連続性のある教育内容・方法を改善充実する。 ・授業研究会や校内研修会など、職員の専門性向上のための研究・研修機会を増やす。 	
○連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と担任、寄宿舎室担の話し合いや連携は、平均値3.6と高い結果となった。 ・進路やディサービス等の情報発信等は、平均値は2.8と職員評価よりも低い結果であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と担任、寄宿舎室担の情報共有等の連携について平均値が3.2と保護者評価と比較して低い結果となった。 ・進路やディサービス等の情報発信等は、2.9と低い結果であった。
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学部間連携や担任と寄宿舎室担の連携、保護者と学校、寄宿舎の連携について、保護者説明会や懇談会、寄宿舎懇談会等の機会を設定し、継続して取り組んでいく。 ・進路等の情報発信のため、進路研修会や見学会等の機会を増やし、改善充実する。 	
○PTA活動	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、職員の双方で、平均値が2.2と2.9と共通して低い結果であった。 	
改善の方策	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や職員が参加しやすくするため活動内容や業務を見直し、改善し、活動を活性化させる。 	

紋別養護学校 平成28年度学校評価 教職員アンケートのまとめ

よく当てはまる4点、当てはまる3点、あまり当てはまらない2点、当てはまらない1点
わからない無回答0点とし、()の数値は全教職員の平均
全項目の平均は3.1

1 最高得点の項目 (3.6)

○児童生徒の個人情報の管理ができています

・保護者に個人情報の取り扱いについて調査し、それに基づいて適正に教育活動が行われている。イニシャルの使用や個人情報を含む会議資料の回収などの取組が高得点につながった。緊急連絡網メールの送信については、ルールや手順を再確認し、確実に送信できるよう努めていく。

2 次に得点の高い項目 2項目 (3.5)

○校内に相談できる相手がいる

・毎日行われる学部反省や学年・ブロックや授業ごとの打ち合わせがきめ細かくされていることなどにより高得点につながった。特に寄宿舎男子棟が高く、会議以外に日常的に指導について話をする機会が多かったことが高得点の理由と考えられる。

○予算は計画的に執行されている

・予算委員会で予算購入計画を立て、教職員に周知するとともに、執行状況も予算委員会で随時確認して共通理解を図っていることが高得点につながった。

3 最低得点の項目 5項目 (2.9)

○分掌の業務内容は適切に配分されており、偏りはない

・特に教務部と学部主事の業務が多くなっているとの意見が多く、改善が必要である。学舎が連携して継続的指導が必要な例や保護者との密な連携が必要な例、専門機関や関係機関との連携が必要な例が少なくないため、学部主事が連絡調整を十分にできる環境づくりが必要である。

○各学部や分掌、棟、事務部の情報共有や連携が図られ、組織的、効率的に業務が行われている。

・各々は一生懸命に業務を行っているが、担当者間や分掌間、学舎の情報共有が足りないため、組織としての運営が十分でない。運営委員会や学部間連絡会の活性化など分掌間や学部間など連携を推進する手立てが必要である。

○進路や福祉制度・サービスなどの情報を保護者にわかりやすく説明している。

・保護者向けの説明会や研修会、進路便りなどで情報提供をしているが、教職員も保護者も高等部以外の数値が低い。オホーツク地区は高等部卒業後の受け入れ先等の資源が十分でないことから、教職員の理解を深め、高等部卒業を見据えて、保護者に対し計画的に研修や情報提供の仕方を工夫し、早いうちから準備をする取組が必要である。

○知的障害や自閉症等の特性を理解して、適切な指導をしている

・本校は経験年数が比較的少ない教職員が多く、専門性の向上が課題である。今年度も多様な研修を設定し、年度を通して取り組んだが、来年度も引き続き研修を継続する必要がある。

○OPTA活動に参加している

・学校から離れた居住地であることや子どもを家庭に置いて出かけることが難しいことなどから、課業時間(授業をしている時間帯)に活動を設定することが多いため、児童生徒の指導に当たっている

教職員は出席できない。遠隔地の保護者や教職員を含めて無理なく参加できる時間帯や内容や方法をさらに工夫する必要がある。

5 教職員評価より保護者評価の得点が低い項目

○アレルギーや異物混入の対策が適切になされ、安全に給食が提供されている

(教職員 3. 4) - (保護者 3. 0) = -0. 4

・全質問項目の平均以上であるが、保護者の得点は小学部 3. 4、中学部 3. 2、高等部 2. 4 と学年が進むにつれて低くなっている。過去の食物アレルギーの対応について十分でないと感じている保護者がいる。現在は北海道教育委員会の通知やマニュアルに従って医療機関による判断をもとに、施設・設備や調理員数の中で可能な限り対応している。今後も保護者と共通理解のもと安心安全でおいしい給食を提供できるよう努める。

○進路や福祉制度・サービスなどの情報を保護者にわかりやすく説明している。

(教職員 2. 9) - (保護者 2. 8) = -0. 1

・保護者向けの説明会や研修会、進路便りなどで情報提供をしているが、教職員も保護者も高等部以外の数値が低い。オホーツク地区は高等部卒業後の受け入れ先等の資源が十分でないことから、教職員の理解を深め、高等部卒業を見据えて、保護者に対し計画的に研修や情報提供の仕方を工夫し、早いうちから準備をする取組が必要である。

紋別養護学校 平成28年度学校評価 保護者アンケートのまとめ

よく当てはまる4点、当てはまる3点、あまり当てはまらない2点、当てはまらない1点
わからない無回答0点とし、()の数値は全保護者の平均
全項目の平均は3.1

1 最高得点の項目(3.6)

○学校の職員は、言葉がけや態度など、お子さんの心情に配慮した指導に努めている

○お子さんの健康状態や学習等の様子について、学級担任や舎室担当がわかりやすく伝えている

・児童生徒への指導について校内研修や学部や棟での打ち合わせを行いきめ細かく進めていること、また、登下校時や帰省帰舎時、個別懇談、連絡帳などによる情報交換の成果であると考えています。今後とも情報や方針を共有して指導を進めていきます。

2 得点が低い項目 3項目

○小学部、中学部、高等部の学部間で指導が引き継がれている(2.2)

・小学部はまだ学部間の引き継ぎを経験していないため、「わからない無回答」が半数以上。

・高等部は半数の保護者が「よくできている、できている」と回答しているが、「あまりできていない2人、できていない1人、わからない2人」など半数の保護者が円滑な引き継ぎを実感していないことが伺えます。個別の教育支援計画や指導計画はわかりやすいとの評価をいただいているため、学部間の引き継ぎの内容や方法について事前に保護者にも十分説明し理解していただく、新しい学部において、引き継いだ内容を保護者に伝えるなど、安心して新しい学部へ移行できるよう、工夫したいと考えています。

○PTA活動に参加している(2.2)

・授業時間(授業をしている時間帯)に活動を設定したり、懇親会を曜日や時期を変えて複数回設定したりしていますが、居住地が遠隔地、共働き、子どもを家庭に置いて出かけることが難しいなどの理由から、参加が難しい状況もあります。遠隔地の保護者が参加できる時間帯、活動の内容や方法をさらに工夫していきたいと考えています。

○学校(寄宿舎)の給食献立は、子どもたちの嗜好や栄養など工夫されたものになっている(2.7)

・メニューについて同じ傾向の献立が多い、朝食にヨーグルトやフルーツを付けてほしいなどの御意見や要望があります。消費税値上げの際に本校は給食費を据え置いたことから、現在の金額設定では難しくなっており、育ち盛りの児童生徒の栄養の確保や食育の充実のため、最小限の値上げを予定しています。また、過去の食物アレルギーの対応について十分でないと感じている保護者がいらっしゃいます。現在は北海道教育委員会の通知や対応マニュアルに従って、医療機関による判断をもとに、施設・設備や調理員数の中で可能な限り対応しています。今後も保護者と共通理解のもと安心安全でおいしい給食を提供できるよう努めてまいります。

平成28年度 紋別養護学校 学校評価教職員アンケート

評価4(よくあてはまる) 3(あてはまる) 1(あまりあてはまらない) 1(あてはまらない) 無(わからない)

全体数 51 回収数 51 回収率 100%

全項目の平均値3.1 得点が高い項目は青、低い項目は黄色で色分けした。

		評価項目	平均値	評価4	評価3	評価2	評価1	無
学校経営について	※主語は「学校は、」	1 学校教育目標や経営方針、経営の重点等の共通理解が図られ、各学部、寄宿舎、分掌、事務部等の計画に反映されている。	3.2	9 17.6%	42 82.4%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%
		2 学校課題解決のための重点の共通理解が図られ、重点に沿った教育活動や各部の業務推進がなされている。	3.3	12 23.5%	38 74.5%	2 3.9%	0 0.0%	0 0.0%
		3 適切な時間設定で効率的な会議や打ち合わせが行われている。	3.0	15 29.4%	22 43.1%	11 21.6%	4 7.8%	0 0.0%
		4 指導担当者間での話し合いは、次回の授業や指導に生かせるものになっている。	3.1	10 19.6%	35 68.6%	5 9.8%	0 0.0%	2 3.9%
		5 困ったときやわからないことを気軽に相談し合える環境があり、学校内に相談できる相手がいる。	3.5	25 49.0%	24 47.1%	2 3.9%	1 2.0%	0 0.0%
		6 分掌の業務内容や量は適切に配置されていて、分掌による偏りはない。	2.9	6 11.8%	34 66.7%	10 19.6%	2 3.9%	0 0.0%
		7 各学部や分掌、棟、事務部の情報共有や連携が図られ、組織的、効率的に業務が行われている。	2.9	4 7.8%	36 70.6%	12 23.5%	0 0.0%	0 0.0%
		8 学校予算は、教育活動の必要性、緊急性、優先度に基づいて計画的に執行されている。	3.5	22 43.1%	28 54.9%	2 3.9%	0 0.0%	0 0.0%
		9 学校の教育活動について地域へわかりやすく発信し、十分に理解啓発を行っている。	3.2	15 29.4%	30 58.8%	6 11.8%	0 0.0%	1 2.0%
教育課程について		10 生活年齢を踏まえるとともに、小・中・高等部のつながりに配慮した教育課程の編成ができて	3.0	8 15.7%	35 68.6%	5 9.8%	0 0.0%	4 7.8%
		11 授業時数、日課、時間割は児童生徒の実態に応じたものになっている。	3.0	11 21.6%	33 64.7%	3 5.9%	0 0.0%	4 7.8%
		12 教育課程の評価が適切に行われ、指導計画や授業改善につながっている。(教諭のみ回答)	3.1	7 13.7%	25 49.0%	3 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
		13 学校(寄宿舎)行事や学校(寄宿舎)の校外学習の内容や回数、時期は適切である。	3.2	17 33.3%	29 56.9%	3 5.9%	1 2.0%	2 3.9%
		14 児童生徒の将来の生活を見据えて、地域資源等を活用した教育が行われている。	3.0	12 23.5%	30 58.8%	7 13.7%	0 0.0%	3 5.9%
教育活動・指導について	※主語は「自分は、」	15 保護者と連携して「個別の支援・指導計画」「寄宿舎個別の指導計画」を作成し、児童生徒の課題や目標、手立てがわかりやすいものになっている。	3.2	18 35.3%	26 51.0%	6 11.8%	0 0.0%	2 3.9%
		16 個別の指導計画や寄宿舎個別の指導計画の目標、手立、評価は日々の授業や指導に活用されている。	3.2	17 33.3%	29 56.9%	4 7.8%	0 0.0%	2 3.9%
		17 本人・保護者の願いやニーズを踏まえた指導を行っている。	3.3	20 39.2%	28 54.9%	2 3.9%	0 0.0%	2 3.9%
		18 児童生徒の障がいや発達段階に応じた授業や指導を行っている。	3.1	14 27.5%	28 54.9%	8 15.7%	0 0.0%	2 3.9%
		19 児童生徒の障がいや発達段階に応じた(学習)環境の整備に努めている。	3.2	20 39.2%	25 49.0%	4 7.8%	0 0.0%	2 3.9%
		20 進路や福祉制度・サービスなどの情報を保護者に分かりやすく説明している。	2.9	12 23.5%	23 45.1%	12 23.5%	1 2.0%	4 7.8%
		21 児童生徒のことについて、学校(寄宿舎)と保護者との間で情報や方針が共有できている。	3.0	13 25.5%	27 52.9%	10 19.6%	0 0.0%	2 3.9%
		22 教室等が整理整頓され、学習しやすく安全な環境になっている。	3.2	16 31.4%	29 56.9%	4 7.8%	2 3.9%	1 2.0%
研修・専門性		23 児童生徒の手本となるように言動、身なり、マナー等に配慮するとともに、服務規律を意識して行動している。	3.2	15 29.4%	33 64.7%	1 2.0%	1 2.0%	2 3.9%
		24 知的障がいや自閉症等の特性を理解して、適切な指導をしている。	2.9	10 19.6%	28 54.9%	11 21.6%	1 2.0%	2 3.9%
		25 知的障害の教科や自立活動について理解し、順序性や系統性を踏まえて指導している。(教諭のみ回答)	3.0	10 19.6%	16 31.4%	9 17.6%	0 0.0%	0 0.0%
危機管理		26 研究・研修や情報収集に努め、根拠をもって授業や指導をしている。	3.1	13 25.5%	28 54.9%	9 17.6%	0 0.0%	2 3.9%
		27 児童生徒の個人情報の管理ができています。	3.6	29 56.9%	23 45.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		28 マニュアルを熟知し、緊急時には児童生徒を安全な場所に避難誘導することができる。	3.3	11 21.6%	40 78.4%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他		29 給食や調理学習の際、アレルギーや異物混入に対する危機管理に万全を期している。	3.4	21 41.2%	28 54.9%	1 2.0%	0 0.0%	2 3.9%
		30 教材費や行事費は適切に使うことができている。(寄宿舎指導員は小遣いや日常生活費とする)	3.3	20 39.2%	28 54.9%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%
		31 PTA活動に参加している。	2.9	17 33%	19 37%	7 14%	4 8%	3 6%

上段は人数、下段は割合

平成28年度学校評価 保護者アンケート集計結果

全体数	27	回収数	27	回収率	100%
-----	----	-----	----	-----	------

全項目の平均値 3.1

評価項目	平均値	評価4	評価3	評価2	評価1	無
1 本校は、本人や保護者の願いやニーズに応じた教育活動を行っている。	3.2	8 29.6%	15 55.6%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%
2 「個別の指導計画」「宿舎個別の指導計画」はわかりやすく書かれ、わかりやすく説明されている。	3.5	14 51.9%	11 40.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%
3 授業時数や日課は、お子さんの実態に応じたものとなっている。	3.2	8 29.6%	17 63.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%
4 授業は、お子さんの実態や障がいの状況に応じた、わかりやすい内容になっている。	3.3	11 40.7%	14 51.9%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%
5 進路先等や放課後等ディサービスなどの情報等をわかりやすく説明されている。	2.8	6 22.2%	15 55.6%	2 7.4%	0 0.0%	4 14.8%
6 小学部、中学部、高等部の学部間で指導が引き継がれている。	2.2	3 11.1%	11 40.7%	2 7.4%	7 25.9%	4 14.8%
7 お子さんの指導について、担任間、学部教師間で共通理解した関わりができています。	3.1	11 40.7%	11 40.7%	1 3.7%	2 7.4%	2 7.4%
8 学校の職員は、言葉がけや態度など、お子さんの心情に配慮した指導に努めている	3.6	16 59.3%	9 33.3%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%
9 運動会、学校祭等の行事は、お子さんの身に付けた力を発揮する内容となっている。	3.5	13 48.1%	11 40.7%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%
10 お預かりしている教材費や行事費等は、正しく使われている。	3.5	12 44.4%	14 51.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%
11 学校の教室や設備等は、きれいに整理整頓されている。	3.5	11 40.7%	15 55.6%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%
12 お子さんの健康状態や学習等の様子について、学級担任や舎室担当がわかりやすく伝えている。	3.6	16 59.3%	9 33.3%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%
13 地域の教育資源を活用した教育活動や交流が行われている。	2.9	5 18.5%	18 66.7%	1 3.7%	0 0.0%	3 11.1%
14 アレルギーや異物混入の対策が適切になされ、安全に給食が提供されている。	3	10 37.0%	12 44.4%	1 3.7%	1 3.7%	3 11.1%
15 学校（宿舎）の給食献立は、子どもたちの嗜好や栄養など工夫されたものになっている。	2.7	4 14.8%	15 55.6%	3 11.1%	2 7.4%	3 11.1%
16 学校は危機管理に努め、安心安全な場所になっている。	3.2	7 25.9%	17 63.0%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%
17 授業参観や学校行事に出席している。	2.8	3 11.1%	14 51.9%	10 37.0%	0 0.0%	0 0.0%
18 P T A 活動に、参加している。	2.2	1 3.7%	9 33.3%	11 40.7%	5 18.5%	1 3.7%

上段は人数、下段は割合

	は得点が高い項目
	は得点が低い項目